

葬送から考えるアクティビティ指導者として、ターミナル期を統合する

葬送準備ケア（終活ケア） インストラクターが誕生

2015年7月11日（土）・12日（日）開催
「葬送準備ケア（終活ケア）インストラクター」養成講座

平成27（2015）年7月

一般社団法人知識環境研究会

一般社団法人知識環境研究会（所在地：東京都千代田区、代表理事：神山資将）は、2015年7月11日（土）・12日（日）、東京・秋葉原にて第1回の「葬送準備ケア（終活ケア）インストラクター養成講座」を開催しました。この講座は、多死社会に向けて「看取り」と「葬送」の架け橋となる新たなエキスパートを養成することを目的としています。医療・介護・葬送の専門家と、「自分らしい生き方と逝き方」を考えるコミュニティ活動を行う一般社団法人これから楽交の協力を得て教育プログラムを開発しました。初開催となった今回の講座では、医療職3人、介護職2人、その他2人（福祉系教育職1人、医療系学生1人）の計7人が2日間のプログラムを修了し、インストラクターとして認定されました。



写真：参加者自身が装飾した棺を使った入棺体験

お問合せ先 一般社団法人知識環境研究会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-11-22

TEL：03（3252）2472 FAX：03（6779）4703 Email：info@ackk.or.jp URL：http://learning.ackk.org/

■ 会場の様子



[左上段]
 奥山晶子氏（葬儀ライター）による現代の葬送の基礎知識に関する講義
 [左中段]
 尾崎文彦氏（一般社団法人これから楽交代表理事）による音楽を活用した葬送の実例報告
 [左下段]
 安田かほる氏（一般社団法人これから楽交）・松本ふみ子氏（布小物作家）による棺の装飾実習



[右上段]
 山内誠一氏（山内葬祭代表取締役）によるグリーフサポート講義と死後の変化に基づいたエンゼルメイク実演
 [右中段]
 ロールプレイを通じて「その人らしい葬送スタイル」の実現について話し合うワークショップ
 [右下段]
 葬儀にも使えるメモリアルボード制作実習

お問合せ先 一般社団法人知識環境研究会

TEL : 03 (3252) 2472 FAX : 03 (6779) 4703

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-11-22

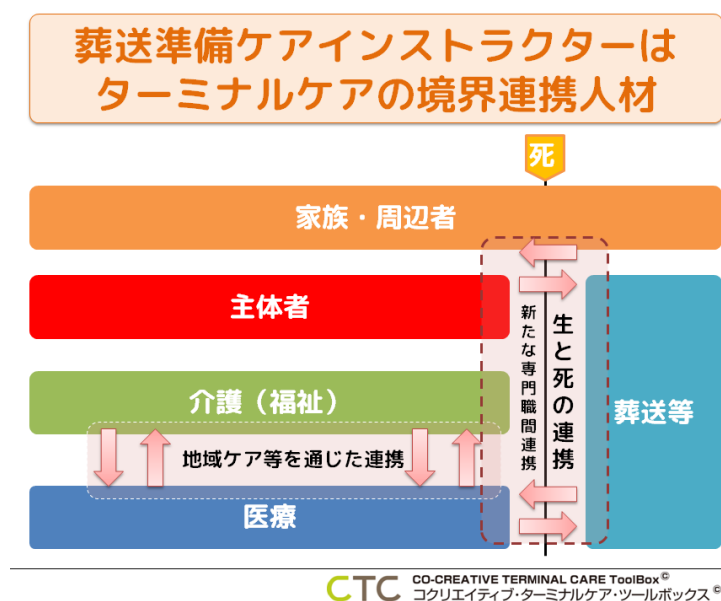
Email : info@ackk.or.jp URL : <http://learning.ackk.org/>

■ 参加者の声（受講後のアンケートより抜粋）

- 入棺体験を行い、死へのイメージが変化しました。施設で看取りを行う中でこのままで良いのか？と思う所が多かったです。
- 死に対して新たな考え方が出来た。個人の重要さが重みを増した。
- 棺を作ったりウェルカムボードを作る事により話す時間が増えて、このような機会が増えるといいと思った。
- グリーフケア、エンゼルケアについて、今迄知らなかった事や、身近な事での質問が出来、理解出来ました。
- 葬送、終活というとネガティブになりすぎて、（ともすれば）生きている時間を大切にできなくなりそうなことを、皆で創りあげることで、生きている実感に変えることが心に残りました。
- ロールプレイングは相手の立場に立って考えることができました。
- 全体的に、エンディングということよりも普通に家族としておしゃべりを楽しんだり夢中になって想い出を話しあって形になるものを創りあげることがとても楽しかったです。生きるとはこういうことの連続なのに忘れていたと気づきました。
- （印象に残ったこと）葬儀社にご遺体を引き渡す際の具体的な「こうして」「こうしないで」というお話、グリーフケア、それに求められるもの4つの条件。葬送のスタイルは、宗教上変えられないところもちろんあるが、意外にアレンジの幅があると気付けた。

■ 葬送準備ケア（終活ケア）インストラクターの役割

本講座は、「療養者とみまもる者が共に創るターミナルケア」で多死社会に貢献することを目指す「共創的ターミナルケア（Co-creative Terminal Care: CTC）」の講座シリーズの一環として企画されました。CTCとは、ターミナル期にかかわる様々なアクターがそれぞれの役割や思考を基に、よりよいターミナル期の生き方を共創する（ともに創り出していく）という方法論です。



お問合せ先 一般社団法人知識環境研究会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-11-22

TEL : 03 (3252) 2472 FAX : 03 (6779) 4703 Email : info@ackk.or.jp URL : <http://learning.ackk.org/>

葬送準備ケア（終活ケア）インストラクターは、死というプロセスを統合的に捉え、医療・介護・葬送など様々な専門職間の連携を担い、主体者（療養者）の立場に立ったサポートを行う新たな専門職です。

今後の開講予定は本講座のウェブサイトを通じて発信します。

➡ 公式サイト <http://learning.ackk.org/sk/>

CTC シリーズのその他の講座には、医療的ケアを中心にターミナルケアの各種手法を総合的に学ぶ「ターミナルケア指導者養成講座」、療養者や療養者家族とのコミュニケーション手法とそれぞれの思いを取り入れたケアの計画法を学ぶ「ターミナルケアのプランニング講座」等があります。詳しくは公式サイト (<http://learning.ackk.org/>) をご覧ください。

■ 監修者

佐々木 由恵

日本社会事業大学社会福祉学部福祉援助学科教授。一般社団法人知識環境研究会代表理事。慶應義塾大学看護師・助産師・社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員。日本女子大学大学院人間生活学研究科博士後期課程修了、博士（学術）。臨床看護師、助産師を経て、看護師や社会福祉リーダーの養成、ケアに関する数々の研究に従事。介護保険施行後は、訪問介護サービス、グループホーム、デイサービス等の事業所を創業し、経営者としても理論を実践しています。

神山 資将

一般社団法人知識環境研究会代表理事。慶應義塾大学環境情報学部を経て、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士前期課程修了、修士（知識科学）。独立行政法人産業技術総合研究所産学連携研究員、財団法人政策科学研究所研究員等を経て現職。専門は科学技術政策、医療サービス科学、多職種連携論。所属学会は日本介護福祉学会、日本医療マネジメント学会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本予防医学リスクマネジメント学会等。

■ 運営組織の概要

一般社団法人知識環境研究会（所在地：東京都千代田区、代表理事：神山資将）は、2000年に発足した、慶應義塾大学と国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学発のシンクタンクです。大学等と連携した研究のほか、認知科学や知識科学の研究成果を医療・介護・福祉分野に応用した各種の実務者向け講座シリーズを運営しています。

▶ 本件に関するお問合せ先
一般社団法人知識環境研究会
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-11-22
[TEL] 03 (3252) 2472 [FAX] 03 (6779) 4703
[Email] info@ackk.or.jp <http://www.ackk.or.jp>

お問合せ先 一般社団法人知識環境研究会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-11-22

TEL : 03 (3252) 2472 FAX : 03 (6779) 4703 Email : info@ackk.or.jp URL : <http://learning.ackk.org/>